

# 通信プラットフォームの在り方

第3回 通信プラットフォーム研究会 資料

平成20年5月15日

イー・モバイル株式会社



## 考え方

### 1. サービスの進捗

### 2. MVNOとの連携

### 3. オープン型モバイルビジネスの実現

- ユーザーIDポータビリティ

- メール/コンテンツのポータビリティ

- xVNOの推進

【2005年度競争評価 結果概要から抜粋】

・市場支配力の存在

- ①NTTドコモグループは、市場支配力を単独で行使しうる地位にある。
- ②複数の事業者が協調して市場支配力を行使しうる地位にある。

・市場支配力の行使

- ①NTTドコモグループが市場支配力を単独で行使する可能性は高くない。
- ②複数の事業者が協調して市場支配力を行使する懸念は残る。ただし、その懸念はやや緩和されつつある。

【2006年度競争評価 結果概要から抜粋】

・市場支配力の存在

- ①NTTドコモグループは単独で市場支配力を行使しうる地位にある。  
04年度以降の評価結果と同様、NTTドコモグループが市場支配力を単独で行使しうる地位にあると評価する。現存の市場構造や事業者間の競争状況においては、一定の競争ルールの存在なしには、シェア1位のNTTドコモグループが単独で価格その他各般の条件を左右しうる地位にある蓋然性が高い。
- ②複数の事業者が協調して市場支配力を行使しうる地位にある。  
04年度以降の評価結果と同様、シェア上位の複数の事業者が協調して市場支配力を行使しうる地位にあると評価する。

・市場支配力の行使

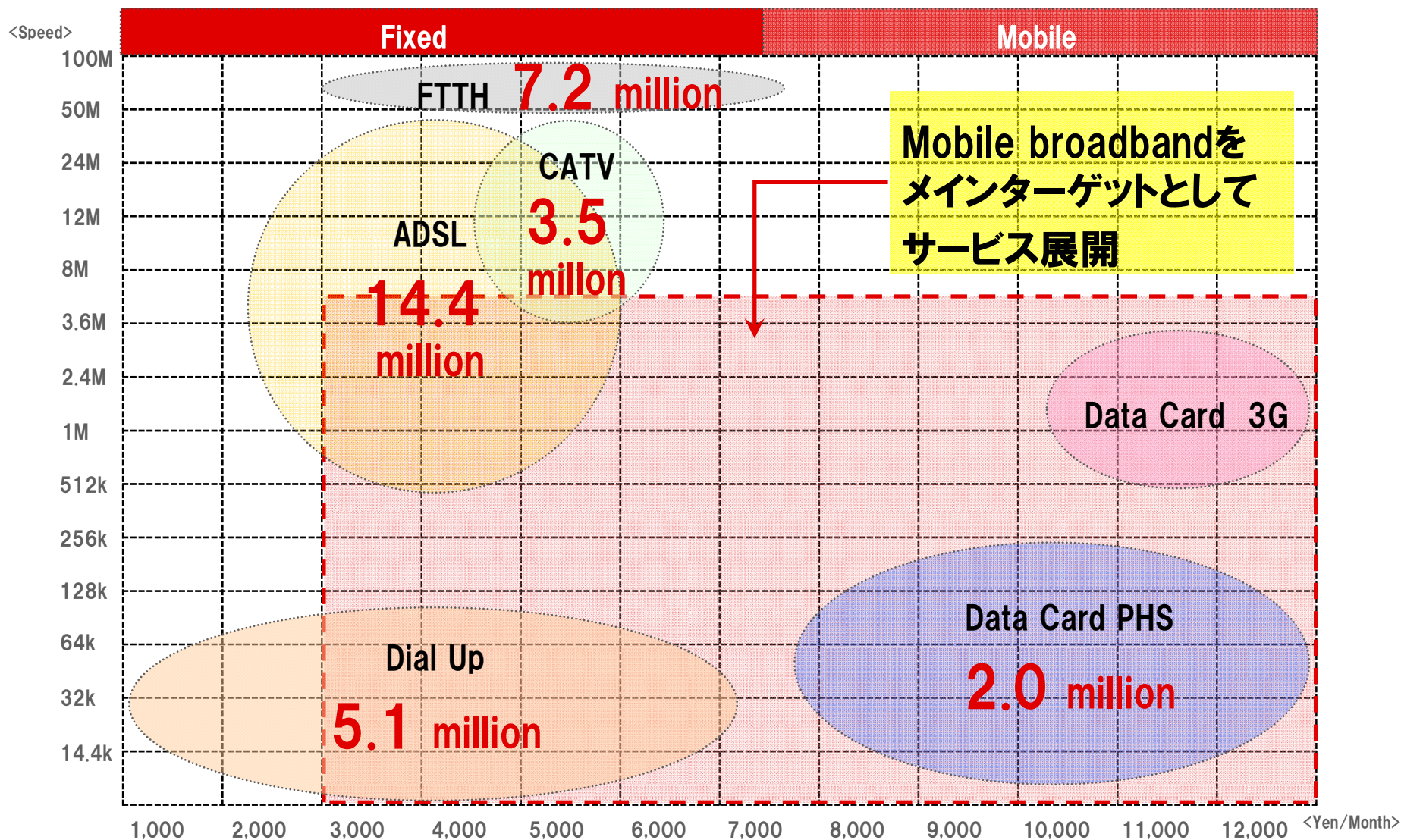
- ①NTTドコモグループは単独で市場支配力を行使しうる可能性は低い。
- ②複数の事業者が協調して市場支配力を行使しうる可能性は低い。

2006年度の競争評価結果では競争進展を示唆しており、また、NTTドコモグループのシェアは漸次下降している等の現況はあるものの、移動体通信市場における上位シェア3社の寡占状態は引き続き存在していると認識。

➤ 引き続き市場動向を注視して、オープン化を促進させるなど競争施策の実施が必要と考える。

# 1. サービスの進捗(1)

## 【サービスセグメント】



## 【端末と料金プラン】

➤ 音声もデータも利用できるブロードバンドケータイを志向

➤ 定額制(月額)を基本として、シンプルで分かり易い料金体系

### ・データサービス (HSDPA最大7.2Mbps)



- ◆完全定額制
  - ・4,980円/月から
- ◆2段階定額制プラン
  - ・ギガデータ  
1,000~4980円/月から
  - ・ライトデータ  
1,980~5,480円/月から
  - ・スーパーライト  
1,000~4,980円/月から



### ・+ (プラス) 音声サービス



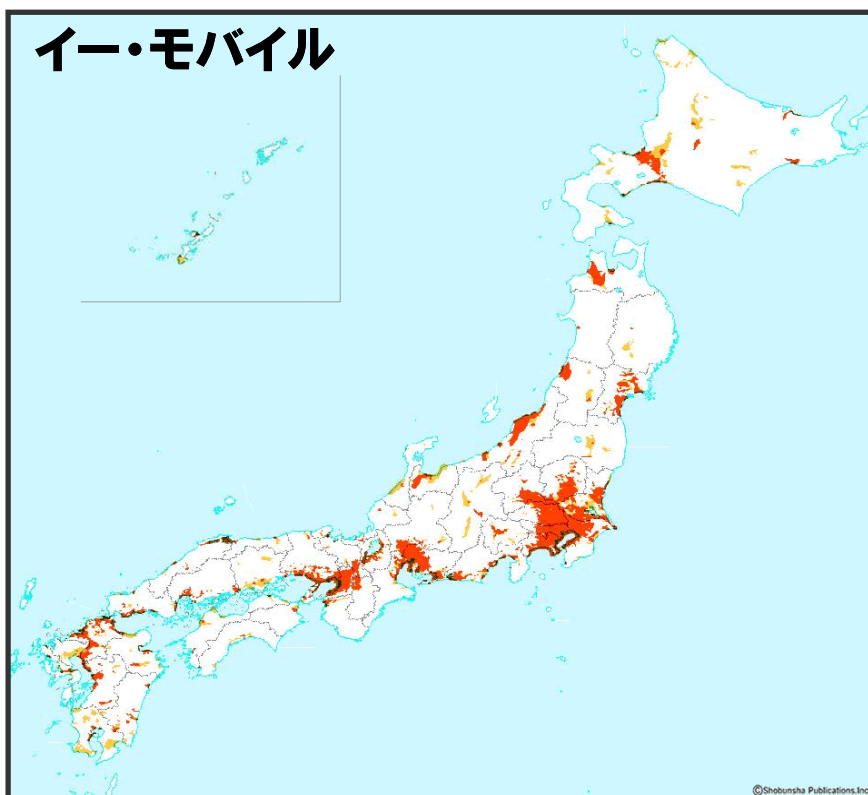
- ◆データ通信料
  - ・1000~4,980円/月から  
に加えて
- ◆音声通話料金
  - ・18.9円/30秒
  - ・定額パック24 980円/月  
EM間:無料  
携帯向け:9.45円/30秒  
固定向け:5.25円/30秒



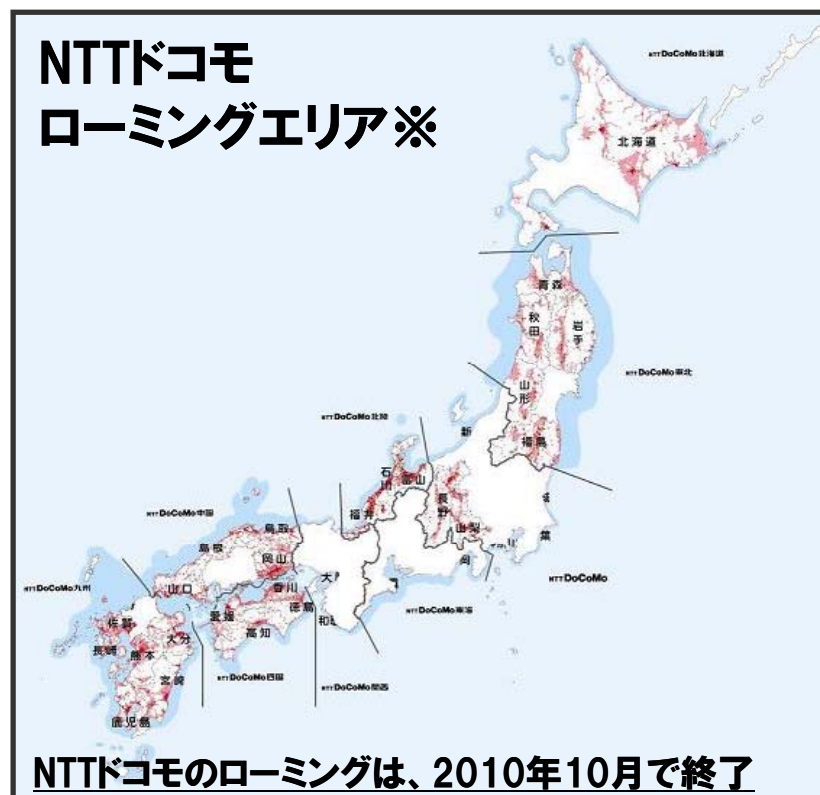
# 1. サービスの進捗(3)

## 【提供エリア(NTTドコモローミングエリア含む)】

➤ ローミングエリアを加えて、全都道府県の主要都市をカバー



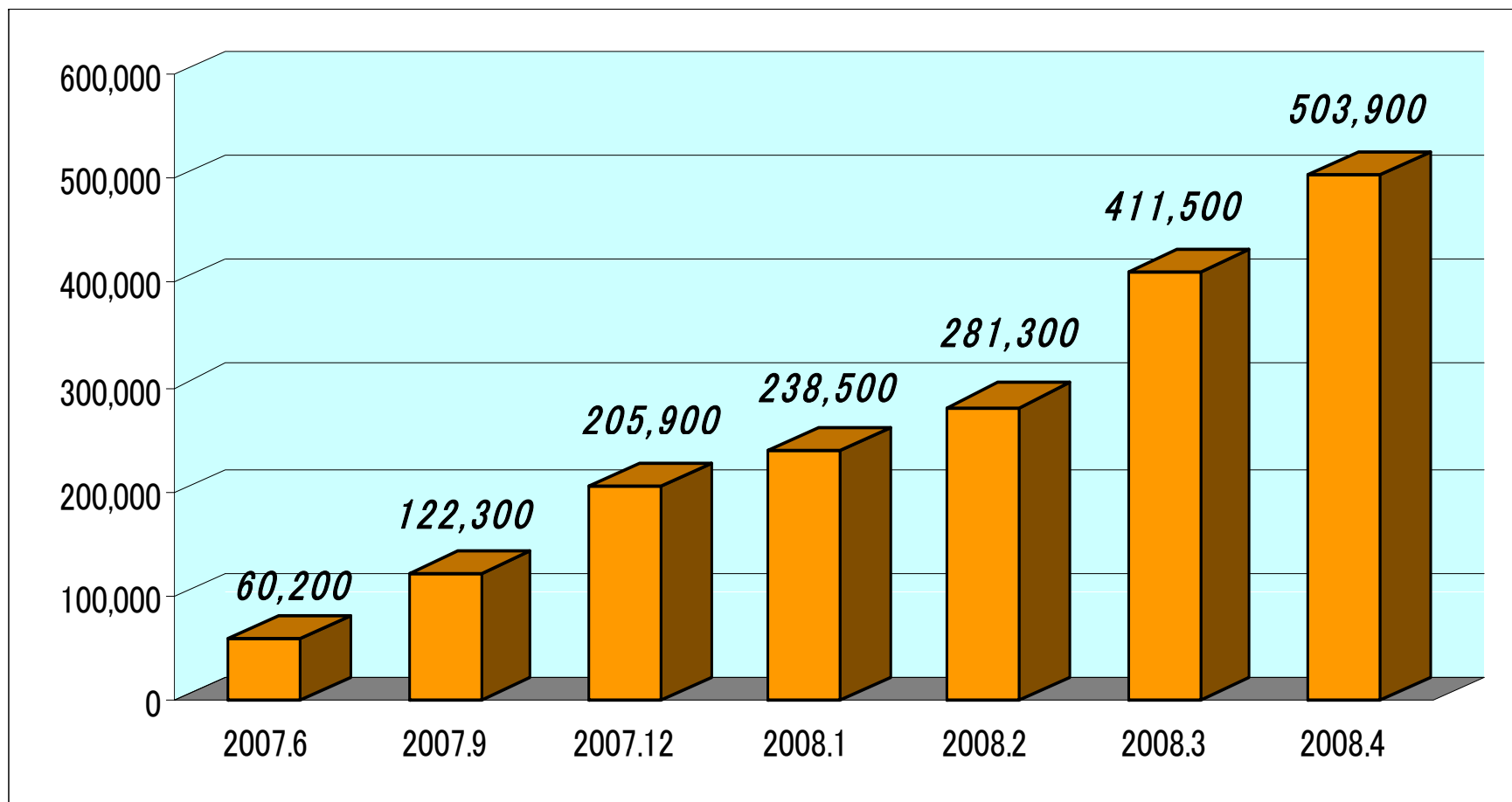
+



音声通話	22.05円/30秒
パケット通信	0.0735円/パケット
SMS	送達通知なし5.25円/回、送達通知あり7.35円/回

※北海道(札幌郊外を除く)、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、富山県、石川県、福井県、長野県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 【加入者の推移】

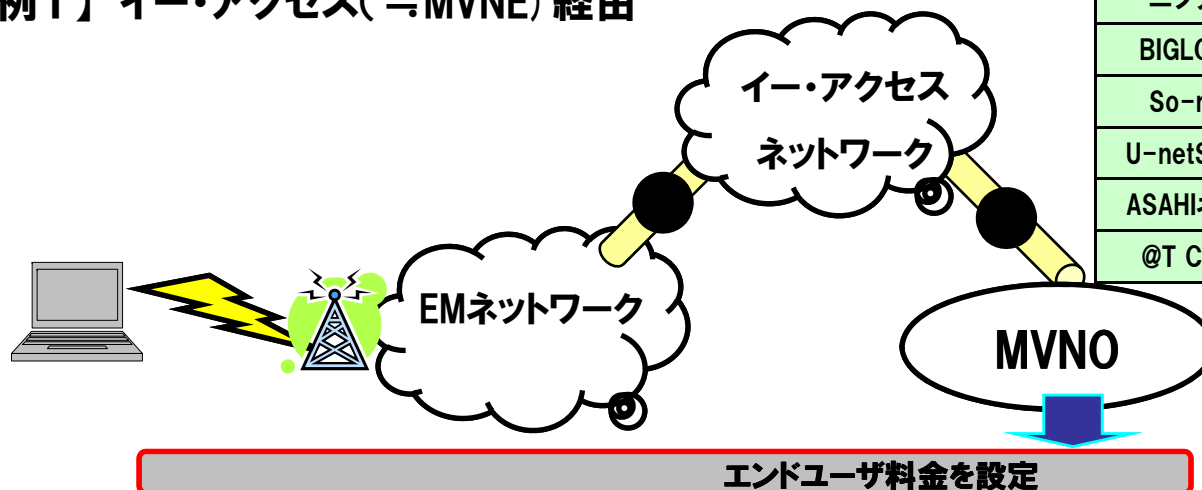


- 2007年3月のサービス開始以降、順調に加入者数は増加。
- 2008年3月からは、音声サービスを開始。

### 【MVNOへの取組み】

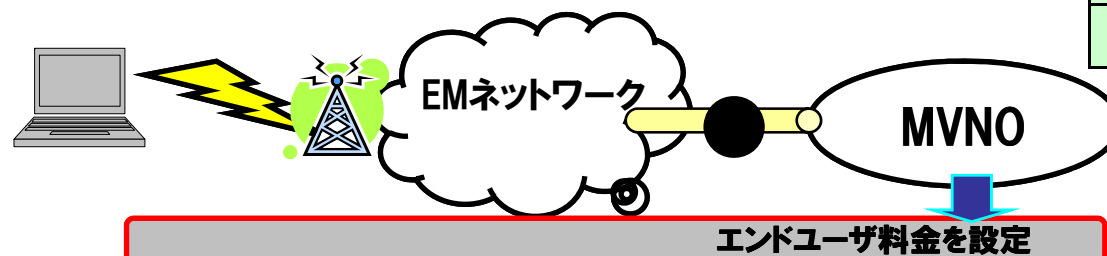
- 積極的にMVNOと連携をはかり、モバイルブロードバンドを推進
- 2007年12月よりMVNO向けに高速モバイルデータサービスを提供

#### 【例1】イー・アクセス(≒MVNE) 経由



ニフティ	Mobile BB	07/12/13
BIGLOBE	高速モバイル	07/12/13
So-net	birWarp(EM)	08/2/28
U-netSURF	JetSURF	08/3/17
ASAHIネット	超割モバイル	08/3/25
@T COM	高速モバイルコース	08/4/1

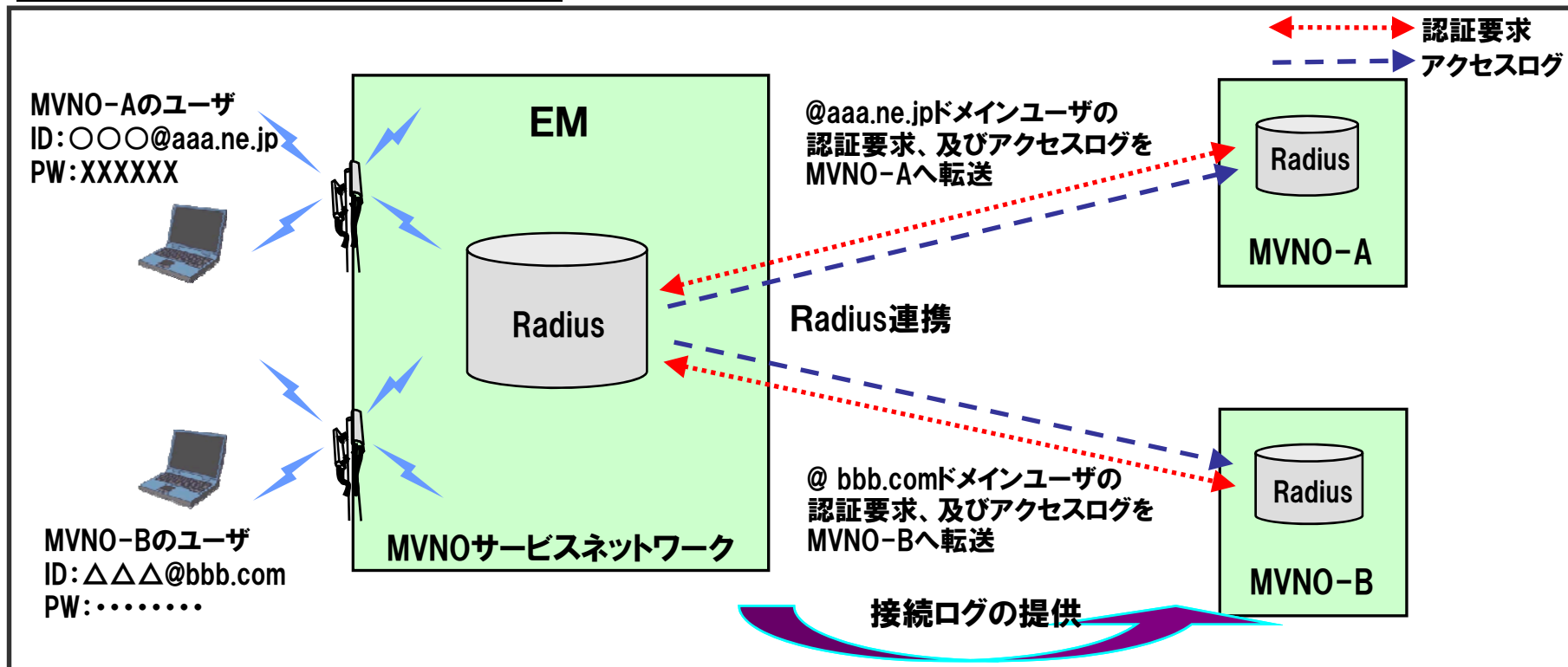
#### 【例2】イー・モバイル直接



IIJ	IIJモバイル	08/1/21
ACCA	ACCA mobile(E)	08/06予定



### 【認証及び課金等の連携】



#### 【認証連携】

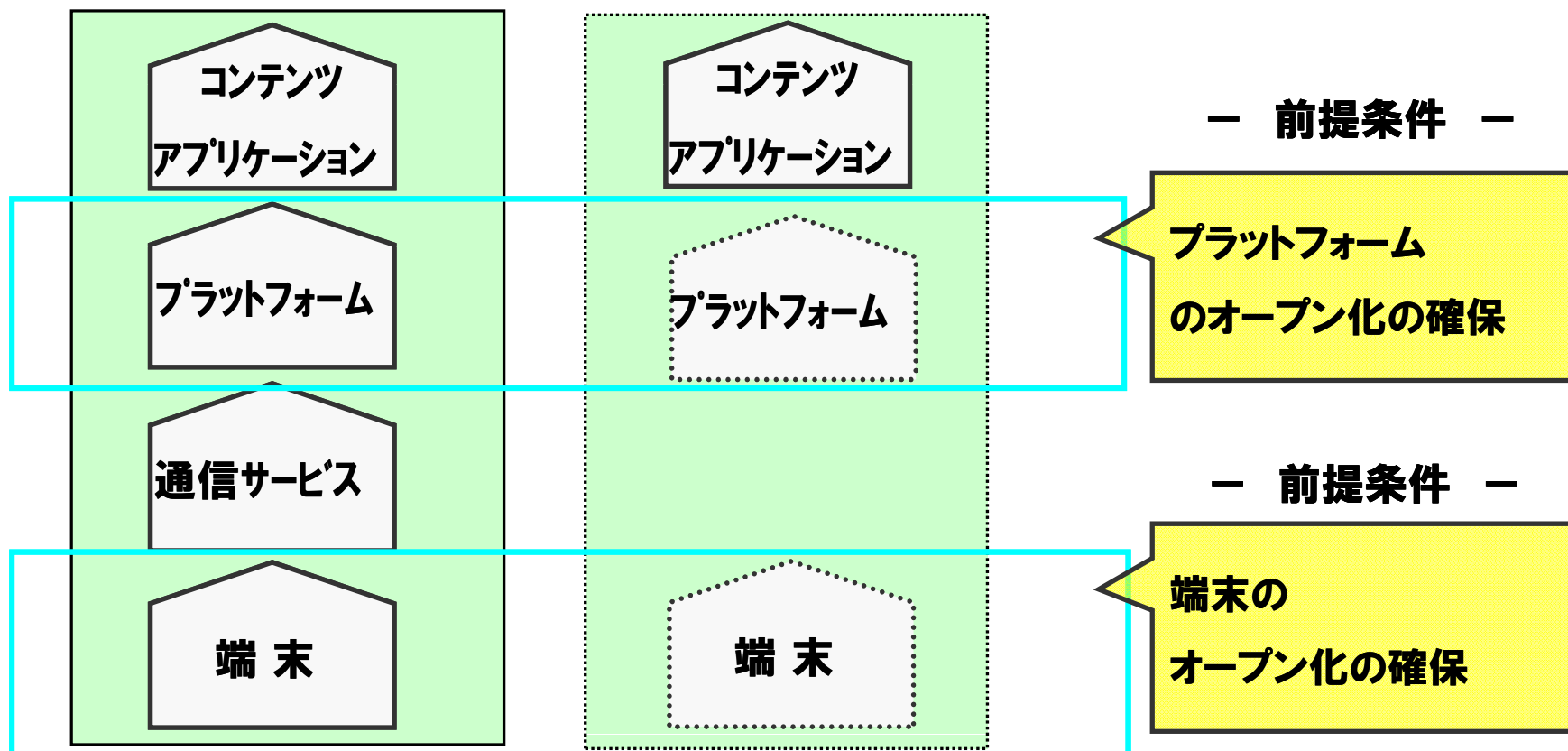
- 認証要求：Radiusにてsuffixを参照、MVNOを振分け ⇒ MVNOにてID/PWでの認証
- アクセスログ：認証後、セッションのUP/DOWNをアクセスログとして送信

#### 【課金連携】

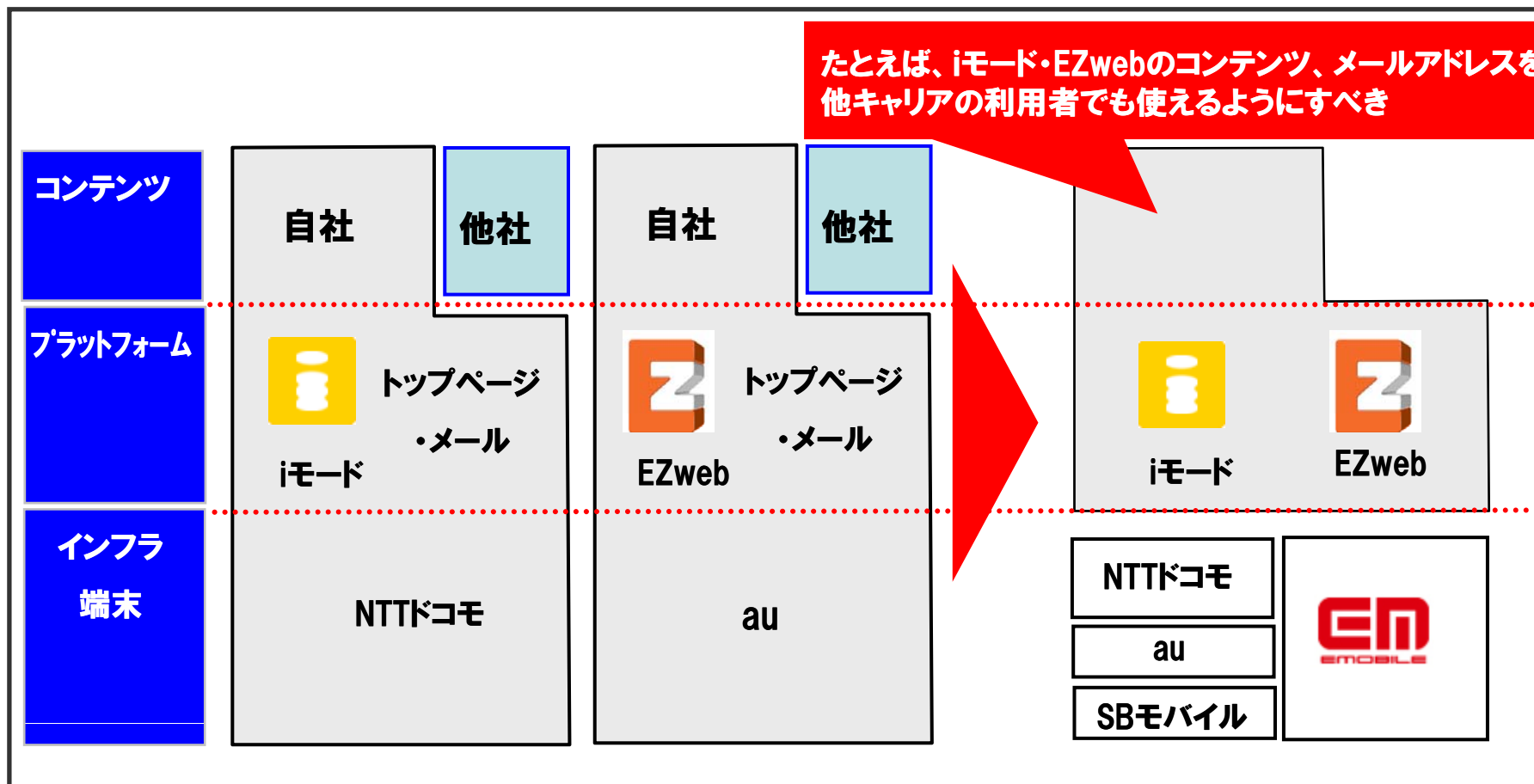
- MVNOが課金に用いる接続ログ(明細)については、必要に応じて各MVNOへ提供

#### 【ユーザIDポータビリティ】

- ユーザIDポータビリティの実現は、グローバルなオープン化が確保されるように、積極的に検討されるべき。



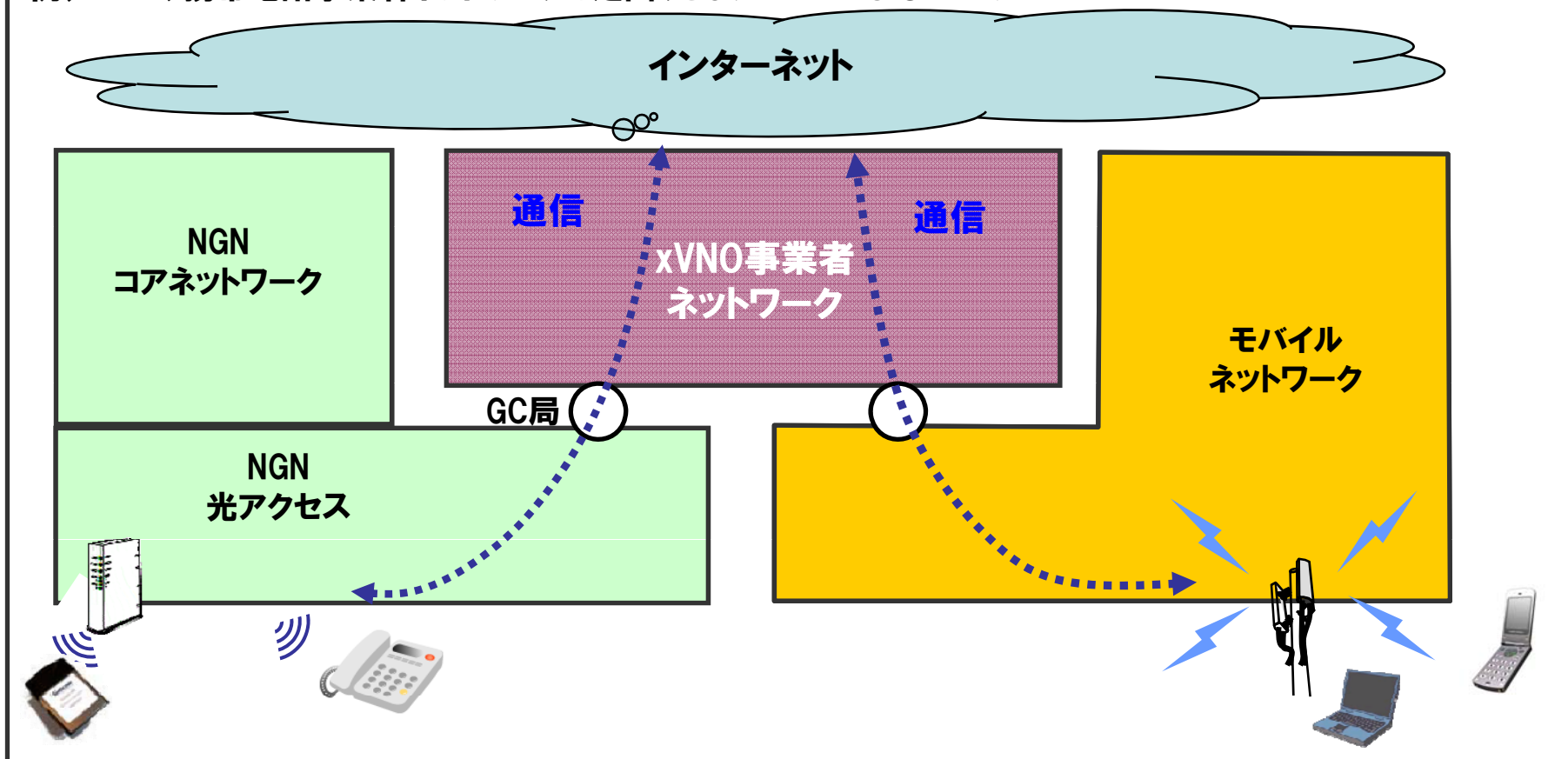
#### 【メール/コンテンツのポータビリティ】



➤ ユーザIDポータビリティの検討とあわせて、ユーザ利便性をより向上させるためには、メール/コンテンツのポータビリティの実現も必要。

## 【xVNOの推進】

例) NGN、携帯電話事業者ネットワークを足回りとしたxVNOによるFMCサービス



- オープン化の促進のためには、モバイルだけでなくNGNのxVNO向けサービスの推進を図る必要がある。
- 低廉な料金設定でのNGN光アクセスとのGC局における接続を実現すべき。

**移動体通信市場においては、オープン化の促進など、競争促進施策は引き続き必要**

**オープン型モバイルビジネスの促進のためには、以下の2点は有効**

- ユーザIDポータビリティ
- コンテンツ/メールアドレスのポータビリティ

**MVNOの推進には、xVNOとして活用できるNGNの光アクセスのGC接続メニューも必要**